



一般社団法人 知識流動システム研究所

KMS : Knowledge Mobility based System Institute
<http://www.smips.jp/KMS/>

知識を流動させ、知識を活かす、 また、その知識の再構築に貢献する

【組織概要】

知識流動システム研究所（KMS：Knowledge Mobility based System Institute）は、任意組織である知的財産マネジメント研究会（Smips）知識流動システム分科会（KMS：Knowledge Mobility System）を元に、その発足から14年を経た2016年10月5日、一般社団法人として「知識を流動させ、知識を活かす、また、その知識の再構築に貢献する」ことを目的として設立した。

大学や企業から一般市民への知識格差を埋めるための知識流動にとどまらず、知識を得たさまざまな利害関係者からの更なる知識流動や知識の再構築も視野に、科学コミュニケーションの視座から知識流動および知識活用のための基盤形成に貢献すべく、一般社団法人知識流動システム研究所（Knowledge Mobility based System Institute）として新たな一歩を踏み出した。

【活動の軌跡】

2002年4月20日	Smipsの分科会として発足。その後、月に一度のMeetingを基に、各種活動を開始
2002年秋～	知財絵本製作開始
2003年度	日産科学振興財団助成金獲得
2004年度	日産科学振興財団助成金獲得
2005年3月	KMS絵本1・2巻発行
2005年～	各地域小学校にて読み聞かせ・ワークショップ活動開始
2005年～	日産科学振興財団助成金獲得
2005年～	子どもゆめ基金助成金獲得
2006年～	JST SPP助成金獲得
2006年	日本知財学会口頭発表(若尾)
2006年～	読み聞かせと理科実験組み合わせ活動開始
2007～2009年度	東京大学先端研と株式会社リバネスによる共同研究実施
2007年7月1日	日本知財学会第5回年次学術研究発表会口頭発表(西山哲史)
2008年3月	KMS絵本3巻発行
2008年6月28日	日本知財学会第6回年次学術発表会口頭発表(村松浩幸)
2008年度	英語版(ドラフト)作成、USPTO/WIPO関係者と意見交換実施
2009年度	中国での宣伝開始・実験コンテンツ新規作成・実施
2013年度	子どもゆめ基金助成金獲得
2016年度	子どもゆめ基金助成金獲得
2016年10月	一般社団法人知識流動システム研究所設立

1. 第一期の執行および運営体制

【役員】

代表理事 西村 由希子 特定非営利活動法人 ASrid 理事長
理 事 小泉 周 自然科学研究機構 研究力強化推進本部 特任教授
大崎 章弘 お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター 特任講師
天元 志保 国立研究開発法人 科学技術振興機構 (JST) 科学コミュニケーションセンター
調査員 (～2017年9月30日)
監 事 隅藏 康一 政策研究大学院大学 教授

【フェロー】 森田 由子 日本科学未来館 プログラム企画開発課 科学コミュニケーション専門主任

【Smips KMS分科会オーガナイザー】

長壁 健 (公財) 東京都医学総合研究所知的財産活用センターシニアアソシエイト
Smips産学連携分科会オーガナイザー

【理事会開催実績】

第 1 回 / 2016 年 11 月 21 日	第 4 回 / 同	年 4 月 6 日	第 7 回 / 同	年 7 月 31 日	
第 2 回 / 同	年 12 月 15 日	第 5 回 / 同	年 5 月 18 日	第 8 回 / 同	年 8 月 29 日
第 3 回 / 2017 年 1 月 19 日	第 6 回 / 同	年 6 月 23 日	第 9 回 / 同	年 9 月 21 日	

2. 第一期の財産及び損益の状況

財産及び損益の状況は、別紙「第一期決算書」の通り。

【今期の主要取引先】

国立研究開発法人国立環境研究所
国立研究開発法人産業技術総合研究所
国立研究開発法人日本医療研究開発機構
国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構
みずほ情報総研株式会社

3. 第一期における事業の経過及びその成果

第一期は国立研究法人に所属する研究者等向けに「科学コミュニケーション基礎研修」を実施（7回、うち1回はKMS分科会としての自主企画）、環境省が進める地球温暖化防止コミュニケーター養成を支援すべく教材（コミュニケーション編）製作など、“専門家から非専門家へ”、また、“非専門家から専門家へ”の科学コミュニケーション推進人材育成に寄与した。加えて、2017年5月に国立研究法人日本医療研究開発機構が進める「ゲノム医療研究支援機能業務アウトソーシング」を受託し、“研究者と研究者”ならびに“研究者と研究機関”をつなぐ専門家同士の情報共有やネットワーク構築にも携わった。また、知財創造教育活動に関わり就任した、内閣府「知財創造教育推進コンソーシアム」検討委員会委員会に2回（第1回会合：2017年1月27日、第2回会合：同年7月10日）出席した。

【活動実績】

1) 研究者向け科学コミュニケーション基礎研修



2016年10月13日

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（参加者：約50名）、講師：小泉 周、日本科学未来館 森田 由子、アシスタント：天元 志保

2016年11月28日

国立研究開発法人 国立環境研究所（参加者：約40名）、講師：小泉 周、アシスタント：天元 志保

2017年 2月20日

Smips KMS分科会 科学コミュニケーション学習会（参加者：9名、会場：名鉄モリシタ名古屋駅前中央店 第5会議室）、講師：名古屋大学大学院 情報科学研究科 教授 戸田山 和久、名古屋大学 高等教育研究センター 助教 齋藤 芳子、科学コミュニケーター 本田 隆行

同 年 3月14日

国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構（参加者：約30名）、講師：大崎 章弘、日本科学未来館 森田 由子、アシスタント：天元 志保

同 年 4月11日

国立研究開発法人 産業技術総合研究所（参加者：約100名）、講師：大崎 章弘、アシスタント：天元 志保

同 年 7月 3日

大阪大学ヒューマンウェアイノベーション博士課程プログラム（参加者：14名）、講師：日本科学未来館 森田 由子

同 年 9月24日

静岡科学館る・く・る（参加者：約20名）、講師：小泉 周、日本科学未来館 森田 由子

2) 知財創造教育事業「発明・発見教室」

■江東区東川小学校ウィークエンドスクール

2016年12月3日

「不思議な生き物『プラナリア』の秘密！」リーダー：福重 裕菜

2017年7月22日

「電気のON・OFFに働きかける半導体のしくみ」
リーダー：石崎 達也／サブリーダー：小島 寛之・長壁 健



■その他

2016年12月10日 コドモチョウナイカイ「みんなでつくろう！コドモチョウナイカイまつり2016」
サイエンストーク&ワークショップ「うちゅうのはたとロケットのおはなし」講師：中本崇志、協力：こみやロケットクラブ（KRC）

2017年3月27日

「深海の謎」（会場：港区・clantete（クランテテ）三田）

2017年8月23日

「STEAM FESTA 2017」（会場：港区・clantete三田）「不思議がいっぱい！小さな生きものから発見発明！」

3) 科学コミュニケーションに関するコンサルテーション等の受託事業受託事業

2017年3月

環境省「地球温暖化防止コミュニケーター事業」にて養成される「地球温暖化防止コミュニケーター」用教材を開発

- ・ 「コミュニケーション編」作成に協力
- ・ 教材を元に地球温暖化防止コミュニケーターを養成するトレーナー向け講座」で講師を担当

同 年5月～2018年3月（予定）

国立研究開発法人日本医療研究開発機構より「ゲノム医療研究支援機能業務アウトソーシング」を受託。



以上